お守り貝みがき初め

平成最後のお正月、神話の里・布良崎神社で
霊峰富士に祈願をかけて、お守り貝を磨きませんか。

「布良星」 ～導きのお守り貝～

布良は、マグロはえ縄船発祥の漁村として古くから栄え、亡くなった漁師の魂は赤い星になるという伝説があります。冬になると南の水平線上に輝くカノープスは「布良星」と呼ばれ、時化を教えてくれる「導きの星」といわれています。中国では寿命が延びる「長寿星」とも呼ばれています。

2019
平成31年 元旦　　13:00～15:00
1月2日～6日　　10:00～15:00

＊会場　：布良崎神社集会所（館山市布良379）
＊参加費：お守り貝磨き　　1人　1,000円
　　願かけ文字彫り（追加）1,000円

☆貝のみがき初め大会

1月13日（日）第一部10:30／第二部13:30

＊会場　：旧富崎小学校体育館（館山市相浜282-1）
＊参加費：上記に同じ
※ なるべく 座布団・上履き・防寒具・タオルをご用意下さい。

「魁」 ～合格・成就のお守り貝～

「さきがけ」とも読むこの字には、「オオハマグリ」の意味があり、中国では科挙（官吏の試験）の合格者をさします。ハマグリの英名はビーナスクラムといい、愛と美のお守り貝でもあります。

「大穴牟知命」　青木繁（石橋財団ブリヂストン美術館蔵）

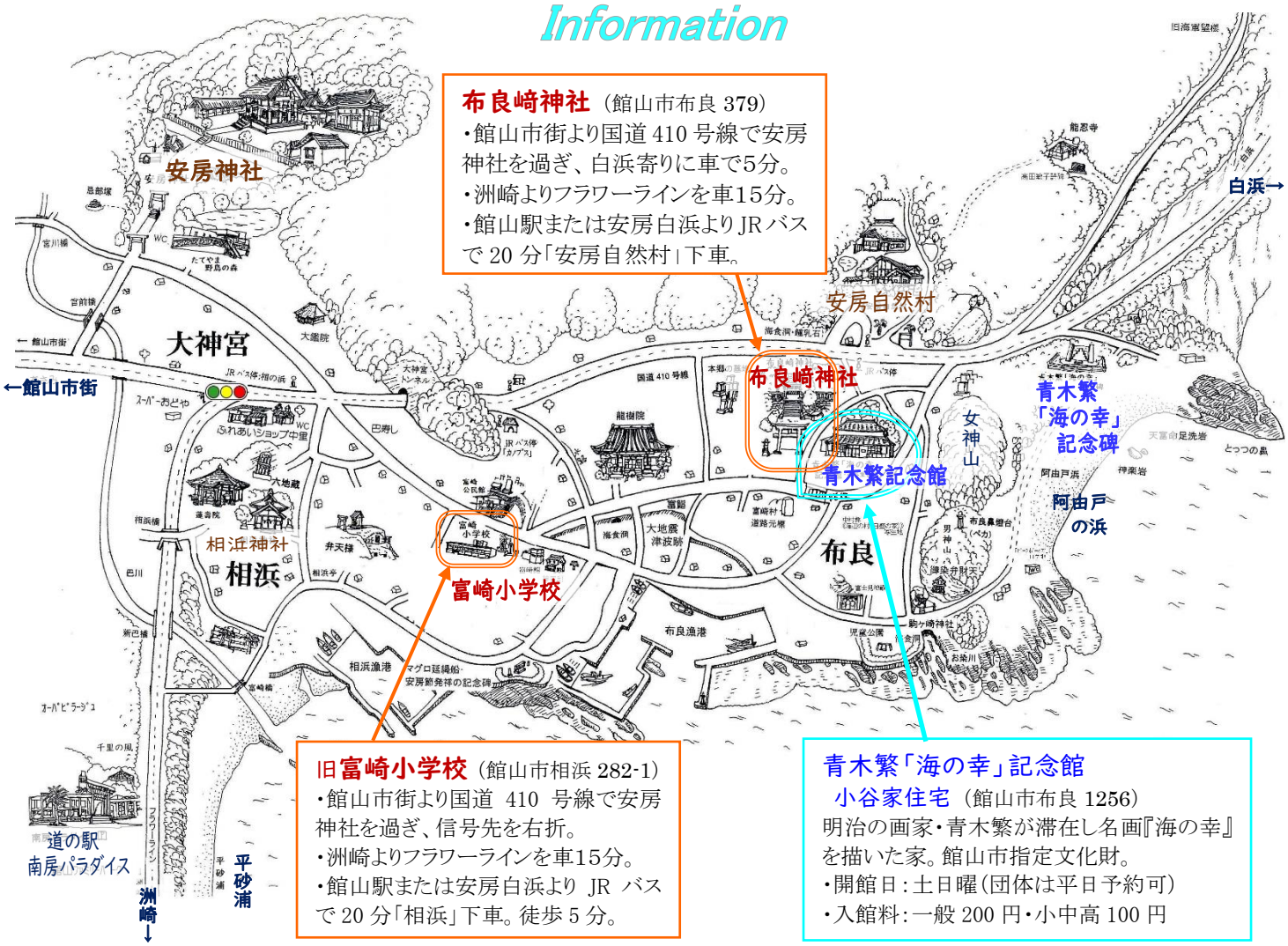
灼熱の岩で大やけどを負ったオオクニヌシノミコトを救うために、アカガイの女神とハマグリの女神が貝の粉と母乳を薬として塗り、蘇生させる神話を描いた青木繁の作品です。
布良はアメノトミノミコトが阿由戸の浜に上陸した神話の里で、女神山のふもとに青木繁「海の幸」記念碑があります。

主催：NPO法人安房文化遺産フォーラム
青木繁《海の幸》誕生の家と
記念碑を保存する会

問合：河辺 090-3218-3479・福田 070-2640-4257

◎ 参加費の一部は、文化財の保存・活用および布良崎神社の神輿基金に充てられます。

Information



布良崎神社（館山市布良 379）
・館山市街より国道 410 号線で安房神社を過ぎ、白浜寄りに車で5分。
・洲崎よりフラワーラインを車15分。
・館山駅または安房白浜より JR バスで 20 分「安房自然村」下車。

旧富崎小学校（館山市相浜 282-1）
・館山市街より国道 410 号線で安房神社を過ぎ、信号先を右折。
・洲崎よりフラワーラインを車15分。
・館山駅または安房白浜より JR バスで 20 分「相浜」下車。徒歩 5 分。

青木繁「海の幸」記念館
小谷家住宅（館山市布良 1256）
明治の画家・青木繁が滞在し名画『海の幸』を描いた家。館山市指定文化財。
・開館日：土日曜（団体は平日予約可）
・入館料：一般 200 円・小中高 100 円

＊青木繁「海の幸」記念館は
1月5, 6日（土日）から開館します。

館山海軍航空隊赤山地下壕跡（館山市宮城 192-2）
日本を代表する戦争遺跡。館山市指定史跡。
・休壕日：第三火曜日（点検のため）
・入館料：一般 200 円・小中高 100 円（団体割引有）

＊赤山地下壕は1月4日（金）から見学できます。
1月6日（日）午前はガイドサービスを実施します。
（10 名以上の団体は予約で有料ガイドとなります）